

東大和 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 書道Ⅰ（東京書籍） ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現方法や形式、多様性について理解している。 中学校書写の学習を基盤として更なる書写能力を身に付ける。	芸術科書道としての表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。	積極的に書の幅広い活動に取り組み、主体的な鑑賞に取り組もうとする姿勢・態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果の関わりについて理解している。 書体や書風と用具用材との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書風に即した用筆・運筆全体の構成を工夫している。 漢字と仮名の調和した字形や文字の大きさに注意を払って構成している。 意図に基づく表現の工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 表現や鑑賞に関わってくる書及び書文化に対して関心を持ち、主体的・積極的に学習に取り組んでいる。	硬筆の学習 □正しい姿勢・ペンの執筆法 □基本点画 □筆順・部首名			○		【知識及び技能】 基本点画、字形の取り方を習得している。 正しい筆順を習得し、字形を整えて書くことができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 正しい筆順や字形を意識して、主体的に学習に取り組むことができる。		○	○	6
		漢字の書 ☆楷書の基本点画・用筆法 □唐の四大家に学ぶ楷書の基本 □書道の歴史・書体の変遷 □唐の4大家（初唐の3大家） ☆九成宮醴泉銘の鑑賞と臨書 ☆孔子廟堂碑の鑑賞と臨書 ☆雁塔聖教序の鑑賞と臨書 ☆自書告身の鑑賞と臨書 ☆牛橛造像記の鑑賞と臨書			○	○	【知識及び技能】 古典の書風の特徴を捉えて、臨書を行うことができる。 古典の書道史的な価値や評価を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 古典の特徴に即した表現になるように工夫することができる。 古典の良さや書的美を味わいながら鑑賞することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 鑑賞したことや工夫したことを分かりやすい言葉で文章化できる。		○	○	20
2 学 期	【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果の関わりについて理解している。 書体や書風と用具用材との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書風に即した用筆・運筆全体の構成を工夫している。 漢字と仮名の調和した字形や文字の大きさに注意を払って構成している。 意図に基づく表現の工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 表現や鑑賞に関わってくる書及び書文化に対して関心を持ち、主体的・積極的に学習に取り組んでいる。	毛筆の学習 □行書の筆順・部首の変化 □行書の歴史 □行書の特徴 ☆行書の基本点画・用筆法 ☆蘭亭序の鑑賞と臨書					【知識及び技能】 古典の書風の特徴を捉えて、臨書を行うことができる。 古典の書道史的な価値や評価を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 古典の特徴に即した表現になるように工夫することができる。 古典の良さや書的美を味わいながら鑑賞することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 鑑賞したことや工夫したことを分かりやすい言葉で文章化できる。 集中して臨書活動に取り組むことができる。		○	○	28
		毛筆の学習 □日本の行書（三筆・三蹟の書） ☆風信帖の鑑賞と臨書 □隸書の基本点画・用筆法 □曹全碑の鑑賞 ☆曹全碑の臨書 □篆書の基本点画・用筆法 □泰山刻石の鑑賞 ☆泰山刻石の鑑賞と臨書 □古典を生かした創作 ☆漢字四字熟語創作			○	○			○	○	

[illegible]